

シェフラー 電動モビリティの開発・製造施設を拡張

- シェフラーは欧州に 5,000 万ユーロを新たに投じ、電動モビリティ戦略を推進
- 新施設は環境に配慮したサステナブル設計
- お客様の主要プロジェクトに対応できる最先端の職場環境
- 超効率基準を考慮した、電動モーターの主力工場

2022 年 8 月 24 日 | Bühl/Yokohama

シェフラーは、ドイツ・ビュールにある電動モビリティ開発・製造施設の拡張に着手します。新たに複合施設を一棟建設して、敷地面積はおよそ 8,000 平方メートルとなり、シェフラー自動車技術部門の本部が所在するビュールにおいて、電動モビリティ分野の卓越した新拠点として機能することを計画しています。この建設計画の投資額はおよそ 5,000 万ユーロ規模となります。「シェフラーは電動モビリティ分野における活動を大幅に広げており、主要プロジェクトの受注を強化しています」とシェフラー AG 自動車技術部門の最高経営責任者 (CEO) であるマティアス・ジンクは述べています。自動車および産業機械分野のサプライヤーであるシェフラーは、2021 年には、電動パワートレイン事業の売上高が 10 億ユーロを超えました。また、総額 32 億ユーロ相当となる各種新規プロジェクトも世界規模で受注しました。2022 年上半期でさらに 32 億ユーロ相当の新規受注を獲得していることから、2022 年通期目標を上半期の 6 か月間ですでに達成したことになります。

今後、こうした複雑性の高いプロジェクトの多くは、拡張を進めている電動モビリティの新複合施設で取り扱う予定です。「シェフラーは電動モビリティのイノベーションを目指して最先端の新しいワークスペースを創出しています」とマティアス・ジンクは述べています。この新複合施設の建設は、シェフラーの「ロードマップ 2025」に盛り込まれている戦略計画の一環であり、電動モビリティ分野の能力拡充において重要なマイルストーンとなっています。2022 年 9 月に着工し、2024 年秋の完成を予定しています。「開発施設の建設は、事業拠点であるビュールにとって、また従業員の将来にとって、重要な契機となります」とビュールのフーベルト・シュヌアー市長は述べています。シェフラーが自動車事業のグローバル本社をビュールに建設するとの発表を行った 2018 年に続き、今回の開発施設建設についてフーベルト・シュヌアー市長は、ビュール拠点の強化のみならず「未来

のモビリティを創出する企業になる」というシェフラーからの明白なメッセージであると捉えています。

高いサステナビリティ基準に準拠した超近代的なワークスペース

ドイツ・ビュールのブースマッテン工業団地に建設する新複合施設は、二棟の建物を橋で連結する構造となります。延べ床面積は 15,000 平方メートルで、従業員およそ 400 人が各種プロジェクトに共同で取り組み、電動パワートレインの新システムを開発します。「シェフラーは今後、機械、電子、そしてソフトウェアの統合型システムに関する総合プロジェクトの受注を強化してまいります。こうした複雑性の高いプロジェクトに最適に対応するため、強力なプロジェクトチームと未来志向の職場環境づくりを進めています」と電動モビリティ事業部門の責任者であるヨッヘン・シュレーダー博士は述べています。新複合施設は、分野横断的なチーム、広範囲に及ぶ協力関係およびネットワーキングゾーンならびに研究室やワークショップのエリアを実現するワークスペースを特徴としており、カンファレンスセンターの設置計画もあります。シェフラーは、ブースマッテンに三棟の建物を擁しており、同施設ですでに電動モビリティのコンポーネントおよびシステムを開発・製造しています。今回建設する新複合施設は、これら既存施設を強化する役割を果たします。また、橋で連結する構造となることから、新施設で働くさまざまなチーム間でのコミュニケーションや対話がさらに深まることが期待できるのも重要なポイントです。ブースマッテンは、シェフラー電動モビリティ事業部門の本社所在地です。

環境側面およびサステナビリティについては、最初から中心的役割を果たすものとして考えています。新施設では、屋上とファサードに設置予定の太陽光発電設備で電力を発電します。ヒートポンプを利用してサステナブルな冷却・発熱を実現します。また、雨水回収タンクを設置して、灌水やトイレの洗浄水などといった、さまざまな用途に利用します。新複合施設は、DGNB(ドイツサステナブル建築協会)のゴールドスタンダードに準拠して建設されます。

電動モーターの超効率的生産

ブースマッテンの既存施設のうち一棟は、トランスミッションコンポーネントの製造に利用している生産施設です。シェフラーは現在、この棟に超近代的な電動モーター工場である UltraElab を建設中です。このグローバルな主力工場は、ドイツ連邦州であるバーデン・ヴュルテンベルク州がシェフラーを含む民間企業と協力してまとめた「超効率的工場」構想の方針に従って建設されています。「効率性と生産性の基準を引き上げるのみならず、シェフラーが UltraElab によって目指しているのは、より優れたサステナビリティの実現に真に貢献することです」とヨッヘン・シュレーダー博士は述べています。こうした目標は、主に、あらゆる電動パワートレインの心臓部である電動モーターの柔軟なアジャイル生産によって達成されると考えています。シェフラーでは、固定化された生産ラインに代えて、必要に応じて再調整や規模の変更が可能で、柔軟性に優れたデジタル化技術モジュールを利用して、モーターを製造していきます。標準化されたインターフェイスおよび最先端の IT 統合によって、モジュールは、従来システムに比べて、よりシン

プルになり、かつセットアップやコンフィギュレーションの迅速化が実現できます。こうした革新的な製造構想は、シェフラーが他の 17 のコンソーシアムパートナーとともに主導し、ドイツ連邦経済エネルギー省 (BMWK) が出資する AgiloDrive2 プロジェクトの下で策定されたものです。シュレーダー博士は「当社の目標は、革新的な電動モーターを柔軟かつ効率的に生産できるようにすること」だと述べています。ビュールにはすでに、専門家がアジャイルな生産施設を試験できるパイロットプラントがあります。デジタルツインと組み合わせて、工業規模の製造施設設計の青写真としての役割を果たすことが期待されます。シュレーダー博士は次のように述べています。「電動モーターの開発製造地を一か所に集約することで、製品の継続的な改良に重要な相乗効果を生み出すことができます」



シェフラーは、ドイツ・ビュールのブースマッテンにある既存の電動モビリティ開発・製造施設に新複合施設を増設します。新複合施設は、二棟の建物を橋で連結する構成で、延べ床面積は 15,000 平方メートルとなります。



電動モビリティの新複合施設では、およそ 400 人の従業員が複雑性の高いプロジェクトに共同で取り組みます。

写真: シェフラー (wurm + wurm architekten ingenieure gmbh)



現在トランスミッションコンポーネントの生産施設があるドイツ・ビュールに、最先端技術を用いた電動モーター製造工場「UltraElab」を建設中です。

写真: シェフラー (Dominik Obertreis)

将来の見通しに関する記述等について

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、現実の業績や事業活動が本プレスリリースに含まれる将来の見通しに関する記述で言明・示唆された内容と異なるリスク、不確定性や仮定が本質的に内在しています。こうしたリスクや不確定性、仮定が、ここに記載される事業計画や活動の実際の結果や財務状況に影響を与える恐れがあります。シェフラーは、新たに入手した情報や今後起こりうる事象を元に、これらの将来の見通しに関する記述を公的に更新したり改定したりする義務を負いません。これらの将来の見通しに関する記述は、本プレスリリースが発行された時点でのみ有効ですので、これに全面的に依拠することはお控えください。本プレスリリースに含まれる過去のトレンドや実際に起きた事象に関する記述は、こうしたトレンドや事象が将来的にも継続することを表明するものではありません。シェフラーもしくはその代理人によりなされた、すべての将来の見通しに関する記述は、書面もしくは口頭の伝達手段の別を問わず、上記の注意事項の適用対象といたします。

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは自動車および産業機械分野における世界的なリーディングサプライヤーとして、75年以上にわたり、モーションとモビリティの分野において画期的な発明や開発を行ってきました。電動モビリティ、CO₂効率に優れたドライブシステム、インダストリー4.0、デジタル化、そして再生可能エネルギーなどのための革新的なテクノロジーや製品及びサービスの提供において、当社はモーションとモビリティをより効率的でインテリジェントかつ持続可能なものにするための信頼されるパートナーです。また当社はパワートレインやシャシー用の高精度コンポーネントやシステム、多くの産業機械用の転がり軸受や滑り軸受のソリューションを開発・製造している技術会社です。シェフラーグループは2021年には約139億ユーロを売上げました。約83,000人の従業員を擁するシェフラーは世界最大級のファミリーカンパニーです。また、シェフラーは2021年には1,800件以上の特許出願を行っており、DPMA(ドイツ特許商標庁)によればドイツで3番目に革新的な企業です。

連絡先

シェフラー・ジャパン広報部 ジュディアン・ゴ

TEL: +81 45-287-9151

E-mail: pr-japan@schaeffler.com

